



街の近く 楽しみ多彩な山

皿倉山 (北九州市)

北九州の市街地からほど近い、皿倉山。登ってみると大パノラマが広がり、世界遺産に登録された施設を含む工場群を眼下に見下ろす。豊かな自然も残っており、昼間は森林浴が心地よい。夜景もきれいで、年間約60万人が訪れる人気スポットだ。

ルーツ公園とともに「新日本三大夜景」に選ばれた。「100億円の夜景」の異名も持つ。今年4月には「恋人の聖地」という新たな「ブランド」も加わった。

標高622m。8種類ある登山道を行くと、山頂まで1時間15分から2時間半程度かかる。そこを、ふもとからケーブルカーとスロープカー(往復1200円)で上るとわずか10分。左手にJR八幡駅へ続く市街地、正面に世界遺産に登録された官営八幡製鉄所の関連施設、その向こうには関門海峡が広がる。視界を遮るものはない。週末は夜間運行もあり、夜景を手軽に楽しめる。2003年、全国の夜景愛好家で作られた「夜景倶楽部」の有志に、奈良の若草山、山梨の笛吹川(宮野拓也)



「新日本三大夜景」の一つ、皿倉山からの夜景。週末はケーブルカー、スロープカーが夜間運行している＝北九州市八幡東区、金子淳撮影

ケーブルカーの山麓駅まで、マイカーなら都市高速・大谷インターから5分。駐車場もある。JRの八幡駅とスペースワールド駅からは徒歩25分と30分、タクシーなら5分。「皿倉山登山口」は山麓駅近くにある。山頂付近まで車道もあるが狭い。



出会う

JRスペースワールド駅そばの「いのちのたび博物館」は西日本最大級の自然史・歴史博物館。恐竜の骨格標本や動物のはくせいがお出迎え。同館職員の前田さん「動かない動物をじっくり観察して下さい」。寺別展「冥土の術」は1月11日まで。常設展とのセットは大人1500円、高大人1100円、小中学生550円。

楽しむ

山頂から東河内登山コースを経由して約1時間半下ったところにある河内天然温泉「あじさいの湯」(093・653・4126)では、広々とした露天風呂で汗を流せる。到着の森、JR八幡駅までの無料送迎

味わう

従業員もケーブルカーで通勤する山頂展望台のカフェ「Cafe Mountain」では、門司港名物の「焼きカレー」(880円)が一番人気。登山の疲れを癒やすそば団子(160円)やケーキなどの甘味に飲み物もある。一番のおすすめはやっぱり眼下の眺望。12月、1月は雪景色の日も多く、四季を感じることができる。



プレゼント
八幡中央区商店街の老舗パン屋の大きな「ラスク」と、地元有志が世界遺産登録を記念してつくった「バッグ」「Tシャツ」の三つをセットにして7人にプレゼント。はがきに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、記事の感想のほか、Tシャツの希望のサイズ(S、M、L、XL)と色(ライム、ピンク、黒)をお書きのうえ、〒803-8586 北九州市小倉北区室町1-1の1 朝日新聞西部本社「旅しよ!」係へ。締め切りは11月5日(木)。